

びわ湖・こどもアートセッション in 大津

BIWAKO CHILDREN'S ART SESSION in OTSU

報告書



びわこを未来につなぐ

session1・2 ワークショップ

2013.11.24 ㊥

session3 展示

2013.11.23 ㊥ — 12.1 ㊥



# びわ湖子どもアートセッション IN 大津 報告

## 「 つくる まなぶ ふれる 」

---

びわ湖は、私たちの大切な宝物。その大切さを、親から子供たちへ、そして、さらに次の世代へと、未来につなげていくことが必要です。びわ湖の大切な自然と文化について、子供たちにわかりやすく教え、考えてもらうためのきっかけづくりとして、私たちの選んだテーマがアートです。さあ、「つくる まなぶ ふれる」アート体験を通して、みなさんも、びわ湖についていっしょに考えてみませんか。

■ 実施期間 : セッション 1・2 ワークショップ (つくる、まなぶ)

平成 25 年 11 月 24 日(日)

セッション 3 展示 (ふれる)

平成 25 年 11 月 23 日(土)~12 月 1 日(日)

■ 会 場 : セッション1 : なぎさ公園打出の森「なぎさのテラス」

①巨大びわこ大ナマズを作ろう!

②オルブテルアールの創り方 #3

③ヨージししゅうで雲に描こう!

④巨大シャボン玉を飛ばそう!

セッション2 : 県立芸術劇場「びわ湖ホール研修室」

びわ湖のほとりで妖怪「とともに」を探そう!

セッション3 : 浜大津アーカス「フェスティバルコート」

■ 主 催 : 大津市

■ 共 催 : 大津市中心市街地活性化協議会、湖岸エリア・アートプロジェクト

(びわ湖子どもアートセッション実行委員会)

■ 協 賛 : (公財)彫刻の森芸術文化財団、大塚オーミ陶業(株)、(公財)平和堂財団、(株)滋賀銀行

(株)関西アーバン銀行、京都信用金庫、(株)成基、(公財)河本文教福祉振興会、(株)竹中工務店

京阪電気鉄道(株)、琵琶湖汽船(株)

■ 後 援 : 滋賀県、滋賀県教育委員会、大津商工会議所、(株)まちづくり大津、(一社)大津青年会議所

びわ湖放送(株)

■ 協 力 : 滋賀県立大学、成安造形大学、NPO 法人これからの建築を考える伊東建築塾

NPO 法人浜大津観光協会

■ コーディネート : NPO 法人エナジーフィールド

## 実施概要

### ■セッション1 ワークショップ なぎさのテラスが会場です。



大型テント設営にクレーン車出動！



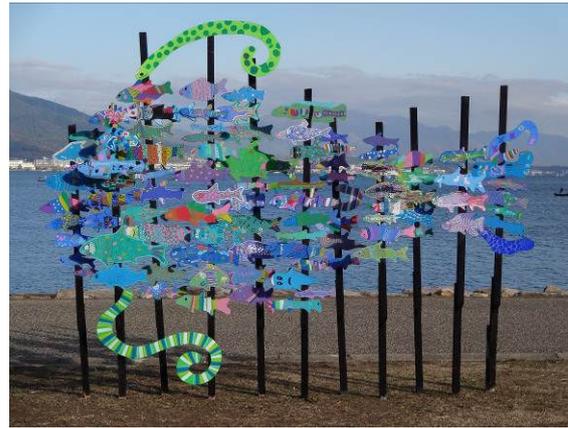
会場風景(好天に恵まれ多くの参加者)

### 巨大びわこ大ナマズを作ろう！ 講師:井上信太(現代アート作家) 参加者:60名(定員30名)

- 定員を大幅に上回る参加者で、いろいろな魚や水鳥の形に切り取られた木製のパネルに絵を描き、それらを繋ぎ合わせ、幻の巨大なびわこ大ナマズを作りました。(11月24日～12月1日まで、なぎさのテラスに展示)



お天気がいいので外で作りました



みごとな巨大びわこ大ナマズの完成です

### オルブテルアールの創り方 #3 講師:河合晋平(美術家) 参加者:60名(定員30名×2回)

- みんなの知っているバターロールを飾れるアート作品、オルブテルアールに変えよう！  
(作成した作品は、12月23日から1月5日まで大津パルコ1階特設会場で展示です。)



参加者は楽しそう！



かわいいオルブテルアールのできあがり！

**ヨージしゅうで雲に描こう！ 講師:田辺由子(テキスタイル作家) 参加者:60名(定員30名×2回)**

- 楊枝でふわふわの羊毛フェルトに落書きするように刺繍していきます。針を使わないので、小さなお子様でも安心です。持ち帰って鍋敷きやコースターにできます。



みんな一生懸命です！



どんなのができたかな？

**巨大シャボン玉を飛ばそう！ 講師:藤原昌樹(彫刻家・シャボン玉研究所所長) 参加者:150名**

- びわ湖畔で大きな大きなシャボン玉を飛ばします。(シャボン液がなくなるまで参加者が増えました)



どうしたら大きなシャボン玉になるか作戦会議？



なかなか大きいのができないなあ！



すごい大きなシャボン玉！



子どもと一緒に大人も楽しそう！

■セッション2 ワークショップ びわ湖ホール研修室が会場です。

びわ湖のほとりで妖怪「とともに」を探そう！ 参加者:13名(定員 20名)

講師:田口純子(東京大学大学院)、古川きくみ(伊東建築塾)、長塚幸助(伊東建築塾)

- 日本で一番大きな湖、そして世界で三番目に古い湖と言われているびわ湖には、昔からさまざまな生き物がくらししてきました。このワークショップでは、びわ湖のまわりに住んでいる妖怪「とともに」のすがたを考えました。「とともに」は、びわ湖と人を仲良くさせる妖怪です。びわ湖に気持ちいい風を吹かせる妖怪、魚の言葉をほんやくしてくれる妖怪など、いろんな「とともに」を、みんなでいっしょに考えました。



テーブルごとのワークショップ



応援に駆けつけた滋賀県立大学生と一緒に



周辺の上空写真



びわ湖岸に出て「とともに」を探しました



みんなで考えた妖怪「とともに」の発表です！

■セッション3 ふれるアート美術館 浜大津アーカス「フェスティバルコート」が会場です

11月23日(土)から12月1日(日)まで、直接ふれることのできる立体作品を展示しました。いろいろな作品から、素材にふれる感覚、作品にふれる体験を通して、多くの子どもたちにアートを体感してもらいました。

期間中 44,672 名の来場者がありました。



彫刻の森からの作品到着です



大型クレーン車で設置しました



木村賢太郎作「ハートの中で握手をしよう」



イサム・ノグチ作「オクタロ」



キム・ハムスキー作「ルネッサンス」



藤原昌樹作

大塚オーミ陶業(株)の全面協力による浜大津アーカス「フェスティバルコート」展示



中村錦平作「皮相対皺面文装置」



夕日に映える作品



ハートの中で握手！



これ、どうして遊ぶんやろ？



このかたちおもしろいね！



ええーっ！ この絵画触れるよ！

期間中、多くの方々にご支援・ご協力いただきました。ありがとうございました。  
大津市、びわ湖アート子どもセッション実行委員会